

**食後の過血糖（食後の急激な血糖の上昇）を改善する糖尿病の薬が処方されております。以下の点にご注意ください。**

## (1) この薬は**食事の直前**にお飲みください。

ごはんやパン等の食べ物と混ざりあって効く薬ですので、食事の直前にお飲みください。もし食事前に飲み忘れたときには食事中にお飲みください。食後または空腹時にお飲みになると効果がおちます。

## (2) **低血糖症状**を起こすことがあります。

- この薬とほかの糖尿病の薬（血糖を下げる薬）を併用した場合は、血糖が下がりすぎて重篤な低血糖を起こすことがあります。
- この薬は砂糖の消化や吸収を遅らせます。ほかの糖尿病の薬による低血糖症状に効果のある砂糖やアメ玉は、この薬をお飲みの時は不適切です。  
**必ずブドウ糖**をとってください。この注意は必ず家族やまわりの方にも知らせておいてください。
- 高所作業や自動車の運転等危険を伴う機械を操作している時に、低血糖症状を起こすと事故につながります。特に注意してください。

## (3) **不快な症状が気になる場合は主治医に相談してください。**

# 低血糖症状について

## ● 低血糖症状とは

血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、「冷や汗がでる」、「気持ちが悪くなる」、「急に強い空腹感をおぼえる」、「動悸がする」、「手足がふるえる」、「目がちらつく」、「ぼんやりする」、「ふらつく」、「力のぬけた感じがする」、「頭がいたくなる」、また「いつもと人柄の違ったような異常な行動をとる」、「わけのわからないことを言う」、「意識をうしなう」、「けいれんを起こす」こともあります。



## ● 低血糖症状が起こったら

- ・空腹時に起こり、食べ物をとると急に良くなるのが特徴です。
- ・低血糖症状は危険な状態ですから、もし異常を感じたら、ブドウ糖をとると治ります。平素から **10～15gのブドウ糖** を持ち歩き、すぐその場でとってください。
- ・低血糖症状を起こした場合は、必ず早めに主治医・薬剤師に報告してください。

## ● 低血糖症状を起こさないために

- ・薬の量や飲み方は主治医・薬剤師の指導を守り、また食事療法・運動療法もきちんと守ってください。
- ・食事時刻の遅れ、激しい運動、空腹時の運動は避けるようにしましょう。

施設名